



第34回 市民公開講座

市民からの質問に対する回答

① ドックの OP.に前立腺 MRI はあるのか？

前立腺癌の診断に役立つ前立腺 MRI は、通常健康診断（ドック）には含まれないことが多いです。前立腺 MRI は主に、前立腺癌の疑いがある場合や、PSA（前立腺特異抗原）の値が高い場合など、追加検査として行われます。検診で心配な場合は、医師に相談し、必要に応じて検査を受けることをお勧めします。

② 前立腺肥大症は、放射線治療で治りますか？

前立腺肥大症の治療には、放射線治療は通常使われません。一般的な治療法としては、薬物療法や、症状がひどい場合には手術（TURP 手術など）が行われます。放射線治療は、前立腺癌の治療に使用されることが多いですが、前立腺肥大症には適応されません。

③ 前立腺がんを告知されたが、進行が遅いので手術しないと言う人がいましたが、どう考えますか？

前立腺癌の進行速度は個人差が大きく、非常にゆっくり進行する場合があります。特に高齢の方や進行が遅いタイプの癌の場合、積極的な治療（手術や放射線治療）を避ける選択肢もあります。この場合、定期的な経過観察を行う「監視療法（アクティブ・サーベイランス）」が選ばれることもあります。最終的な治療法は、患者さんの年齢、健康状態、癌の進行状況を考慮して、医師と相談の上で決めることが重要です。

④ 前立腺がんの手術、どの位（時間、値段）かかるのですか？

前立腺癌の手術（前立腺全摘術）は、通常 2～3 時間程度かかります。手術の費用は病院や地域、保険の有無によって異なりますが、健康保険が適用される場合、自己負担は数万円程度から始まり、高額な医療費がかかることもあります。また一般的な入院期間は 7-10 日程度です。持病や手術に伴う合併症などがあれば、入院期間が延長することもあります。手術に関連する費用については、事前に病院の担当者と確認することをお勧めします。

⑤ 男性の前立腺がんになる比率は何%ですか？

前立腺癌は男性において比較的良好に見られる癌で、日本国内では40歳以上の男性での発症が増えています。男性の生涯における前立腺癌の発症率は、約10%程度とされていますが、年齢とともにその割合は増加します。早期発見によって治療の効果が高くなるため、定期的な検査が大切です。

⑥ 色々がんのメカニズム等を知りたい。

がんは、細胞が異常に増殖して、周囲の組織に侵入する病気です。前立腺癌の場合、前立腺の細胞が異常に増殖し、悪性の腫瘍を形成します。がん細胞は通常の細胞とは異なり、自己修復機能や増殖抑制機能が失われており、異常に増え続けることが特徴です。癌の原因としては遺伝、生活習慣、環境因子などが複雑に絡んでいます。詳しく知りたい場合は、専門的な書籍や信頼できる医療サイトで学ぶことができます。

⑦ 前立腺がんになる原因は、なんですか？

前立腺がんの正確な原因はまだ完全には解明されていませんが、いくつかのリスク因子が分かっています。主なものとしては、年齢（高齢になるほどリスクが高い）、遺伝（家族に前立腺がんの人がいる場合）、食生活（高脂肪食など）、ホルモン（男性ホルモンの影響）が挙げられます。生活習慣を見直すことが予防に繋がると考えられています。

⑧ 検診は大学病院では出来ないの、病院・クリニックなら、どこに行けば良いのかわかりません。先生方が出向しているクリニックを知りたかったです。

前立腺がんの検診は、一般的には専門の泌尿器科で行っています。大学病院や大きな病院でなくても、地域の泌尿器科クリニックでも検診が受けられます。医師が特定のクリニックに出向している場合もありますが、地域によって異なるため、まずは近隣の泌尿器科で検診について問い合わせてみるとよいでしょう。自治体が行っているがん検診（無料）や人間ドックの受検をお勧めいたします。



⑨ 前立腺がんを予防する、発症しないような行動、悪影響となる行動はあるのか？

前立腺がんを完全に予防する方法はありませんが、リスクを減らすために以下のような生活習慣が推奨されています：

- 健康的な食事（野菜や果物を多く、動物性脂肪を減らす）
- 定期的な運動
- 禁煙
- 適切な体重管理
- 過度なアルコールの摂取を避ける

逆に、過度のストレスや不健康な食習慣、運動不足はリスクを高める可能性があります。

⑩ PSA の基準は「4.0」と考えてよろしいでしょうか？

PSA の基準値は「4.0ng/ml」ですが、これはあくまで目安に過ぎません。PSA 値が 4.0 以下であっても前立腺癌が存在することがありますし、逆に PSA が高くても癌がないもしくは見つからない場合もあります。PSA はあくまでスクリーニングの一つの指標であり、他の検査（前立腺 MRI や生検）と組み合わせて総合的に判断する必要があります。

⑪ 他大学病院の治療事例があったら参考にうかがいたかったと思います。（例、ハイフ治療）

前立腺癌の治療方法は、病院や症例によって異なります。ハイフ（HIFU: 高密度焦点式超音波治療）は、一部の病院で行われている治療法ですが、すべての症例に適応できるわけではありません。具体的な治療法は、患者さんの状態に合わせて医師と相談し、最適な治療を選択することが大切です。もし関心があれば、他の大学病院や治療施設に問い合わせて、治療事例や最新の治療法を確認するのも良いでしょう。

